

GitとGitHubについて

この章ではGitについて理解し、その使い方を説明します。

IT業界では必ず使うツールなのでしっかり抑えておきましょう！

GitとGitHub

簡単言うとバージョン管理を行うツールです。

1つのプロジェクトを複数人で開発する時に、それぞれが編集を行うとどれを優先するのか分からなくなってしまいます。

また、編集したファイルに重大なバグが見つかった時もすぐに過去の変更に戻すことができます。

GitとGitHubは呼び方が似てますが違います。

Gitは主にローカル環境（自分のPC）でバージョン管理を行い、GitHubはそれをクラウドで管理しているWebサービスで、公開されているものは誰でも参照できます。

Gitの仕組み

リポジトリ

リポジトリとは、ファイルやディレクトリの設定を保管する場所です。

変更履歴を管理したいファイル、ディレクトリをリポジトリで管理することにより、変更履歴を記録できます。

ローカルリポジトリ

開発者自身のPC内にあるリポジトリです。

リモートリポジトリ

ローカルリポジトリで記録した変更をローカルリポジトリへプッシュ（アップロード）することでGitHubへその変更記録を反映することができる